

1 研究主題 「子どもの思いをかきたてる題材の工夫」

2 研究の概要

- (1) 学習指導要領の目標にある「つくりだす喜び」につながる、子どもの思いを掻き立てる題材とは、について昨年度に引き続いて研修を深める。
- (2) 部員自身による創作活動研修および児童美術展覧会入選作品を鑑賞し、指導力向上を図っていく。

3 研究の実際

第 1 回 実技研修会「版画の基本とアイデア」

< 6 月 4 日 (水) 吉田小学校にて : 参加 18 名 >

- (1) 講 師 [株]クラフテリオ 森 春 菜 様
- (2) 研 修 内 容 木版画の実技研修を通して、版画の基本や題材の工夫について学んだ。
- 版画の基本
 - ・彫刻刀の安全な使い方と一本一本の彫りの特徴。
 - ・ゴムローラーの正しい使い方とインク扱い方。
 - ・彫りくずが散乱しないように、児童の机に袋を貼りつけるというアイデアも教えていただいた。
 - 題材の工夫
 - ・木版画の導入として、板の両面を用いた 2 版多色刷りを提案された。まず片面には各彫刻刀で自由に彫らせてカラーインキで摺り (第 1 版)、彫りの特徴について理解させ、もう片面に図案を入れて彫り進め、先ほどの第 1 版に黒インキで摺り重ねる (第 2 版)。

(3) 成果と課題

用具の正しい使い方など、児童に伝え切れていない部分があることに気付かされた。また、板の両面を使うという柔軟な発想により、細やかで無駄のない指導が可能となり、作品にもより味わいが生まれるということ、ほんの一工夫で、彫りくずの始末も格段に楽になるということを教えていただいた。児童が自主的に楽しく作品づくりに取り組んでいけるように、学んだことを生かしていきたい。

第 2 回 作品観賞会「新潟県ジュニア教育美術展の入選作品から学ぶ」

< 1 2 月 3 日 (水) 新潟県民会館にて : 参加 16 名 >

- (1) 研 修 内 容 優れた児童作品を鑑賞し、多様な題材や表現方法について学んだ。
- 多様な題材
 - ・県内各地から作品が集まっているので、教科書にとらわれずに多くの題材を目にすることができた。
 - ・幼稚園から中学校までの各発達段階における描画の特質についても知ることができた。
 - 表現方法
 - ・絵の具のみではなく、写真のコラージュを取り入れたりクレパスと組み合わせたり、様々な画材や方法が取り入れられていた。

(2) 成果と課題

入選した作品を鑑賞し、審査の講評を読んで、重視すべきは児童の自由な発想と表現であると改めて気付かされた。教師の押し付けで終わらない絵画指導を心掛けていきたい。